

大館市環境マネジメントシステム
令和5年度 内部監査結果報告書

令和5年6月26日
内部監査チーム

令和5年度 内部監査（第1次）結果報告

1．監査の目的及び範囲

本市の事務・事業の活動に伴う環境への負荷を抑制することを目的とし、本市の環境マネジメントシステムで立案、計画した事項及びISO14001規格の要求事項に適合し、かつ適切に実施されているかを監査し結果を評価した。

監査範囲は、令和5年度内部監査計画に基づき、39部門全てを対象としている。

本年度の重点監査事項は、「環境影響評価について」「環境目標を達成するための計画策定について」の2項目としており、これらが規格の要求事項に適合しているかどうかを中心に監査を実施した。

2．監査の実施期間及び対象部門名

実施期間	監査部門名
令和5年5月15日（月）	管財課、税務課、生涯学習課（中公含む）
令和5年5月16日（火）	市民課、観光課、都市計画課、議会事務局、 監査委員事務局
令和5年5月17日（水）	環境課、子ども課、農政課、まちづくり課、 農業委員会事務局、環境管理事務局
令和5年5月18日（木）	保険課、長寿課、土木課、下水道課、会計課、教育総務課、 学校教育課、歴史文化課
令和5年5月19日（金）	財政課、福祉課
令和5年5月22日（月）	危機管理課、企画調整課、職員課、林政課、田代総合支所
令和5年5月23日（火）	総務課、商工課、水道課、比内総合支所、 選挙管理委員会事務局
令和5年5月24日（水）	収納課、交流推進課
令和5年5月29日（月）	スポーツ振興課
令和5年5月30日（火）	契約検査課、健康課

3．監査に立ち会った被監査部門の代表者の氏名

各部門別「内部監査結果報告書」のとおり

4．担当した主任監査員及び監査員の氏名

別紙1「内部監査員担当表」のとおり

本年度は13班体制で実施。監査員のうち新任は8名である。

5．監査基準

大館市内部監査要綱第5条による。

6．監査の概要

あらかじめ監査期日を定め、チェックリストを用いて関係文書類等の調査照合及び前

回指摘・要望事項の是正確認を行い、不明な点については担当職員の説明を求め、必要に応じて関係施設を調査した。

7. 監査の結果

監査を実施した39部門の評価は、38部門を『適合』、1部門を『軽微な不適合』とした。

『軽微な不適合』の内容は、医療機関などの事業場に設置しなければならない特別管理産業廃棄物管理責任者にかかる「委託業務等に関する資格等確認報告書」が提出されていないこと（健康課）である。昨年度も「軽微な不適合」として指摘を受け、内部監査後に是正済であったが、今年度も同様に発生した。

なお、39部門のうち14部門に計15件の『助言』を行った。これは、内部監査員が助言することにより、システムの運用や業務の改善につなげてほしいという狙いから実施しているものである。

主なものは、環境目標を達成するための計画策定に関するものが8件で、うち目標化に関するものが2件、評価基準に関するものが4件、見直しに関するものが2件であった。そのほか、環境影響評価に関わることが2件、文書管理や施設管理についてそれぞれ2件などである。各部門においては、こうした助言を参考にしながら、EMSを業務効率化及び改善のツールとして活用いただくようお願いしたい。

次に本年度の重点事項2点、環境影響評価について、環境目標を達成するための計画策定についての全体的な評価について記す。

については、リスク及び機会、事務分掌それぞれから概ね適正に抽出されている。目標化されていない環境側面に関しても、リスク及び機会として取り込む提案や目標管理することに向けた助言等を行った。は、「目標の達成に向けてPDCAが適切に運用されているかを聞き取る」というEMSの要ともいえる部分である。こちら目標設定や定期的な見直し・評価等を監査し概ね適正と判断したが、部門によって評価が分かれる部分でもあり、各部門においては、内部監査結果を活かして更なるEMSの推進に役立てていただきたい。

他方、課内研修の内容の充実、不適合是正処置後の再発防止策、次の年度に向けた改善の機会などについて充実項目として挙げられた部門もあり、EMSの取組みが実務者レベルで活かしている好例である。引き続き、個々の理解度を深くする取組みをお願いするとともに、EMSが業務全般に応用、活用されるようにしていただきたい。

なお、被監査部門の監査結果は、別紙「内部監査結果報告書」のとおりであるが、15項目に上った『充実事項の評価』の一部を具体的に紹介する。

一般研修のレジュメは、昨年度との変更点を箇条書きするなど今年度EMSへの取組みが明確であった。また実行部門の長、環境推進委員、環境実行委員を対象とした環境マネジメントシステム研修会の内容を網羅、工夫されわかりやすく解説され

ていた。有効性は高いものと評価できる。(職員課)

不適合是正処置後の再発防止のための対策を、是正の対象となった浄化槽以外の浄化槽にも適用し、防止策を講じている。(都市計画課)

「環境目標を達成するための計画策定」で、取り組み状況や達成度評価が具体的に記録されており、次の年度に向けた改善の機会に繋がられている。定性的な目標についても、目指す着地点に向けた行動ができています。(商工課)

人口減少、少子高齢化が進む中で、関連団体の活動が減少している。そのような中で、文化財の保護や伝統文化の継承・普及にあたり、課内及び所管施設における課題をしっかりと洗い出しており、課全体で共有しながら解決に向けて取り組んでいる。(歴史文化課)

8. その他

令和4年度の部門別の不適合(未達成)事項については下記のとおりである。リスク及び機会または事務分掌と連動した環境目標69項目のうち、年間目標の未達件数が14項目となった。それぞれにおいて未達となった事由は異なるが、どういう事由であれ未達後の見直し、取り組みが肝要となる。令和5年度の計画策定において、システムに基づいた改善、是正や見直しが行われていることを確認したものの、常にPDCAサイクルを回すことを念頭に置き、適切な運用が図られるようにされたい。また、環境管理事務局からは、法順守項目に関して廃掃法施行令や浄化槽の水質基準に満たない施設の報告を受けたが、手順に従い対応し、各種報告、記録類が整備されていた。緊急事態の発生に関しては、還付金詐欺や特殊詐欺と思われる不審電話が市内で発生していることを受けて、ほぼ同日のうちにアプリを使用し市民へ周知されている。また、市外坑排水処理所の未処理水流出等に関しても、緊急事態対応手順書等を活用し同日中に取水を再開している。いずれの件においても、迅速な対応が被害の拡大を防いでいるものと思われる。

環境目標の未達

	項目	目標	結果	増減	部署名
1	空家等解体撤去費補助金の支給件数	7件	6件	1件	危機管理課
2	まちづくり団体事業費補助金利用数	24件	13件	11件	企画調整課
3	公有林の保育	12.86ha	0ha	12.86ha	管財課
4	街灯のLED照明導入補助基数	150基	101基	49基	市民課
5	リサイクル率	11.1%	10.38%	0.72%	環境課
6	一人一日当たりごみ排出量	1,001g	1,024g	23g	環境課
7	こでん回収量	39,800kg	38,626.3kg	1,173.7kg	環境課
8	生ごみ、鶏糞、籾殻の堆肥化	1,140t	993t	147t	農政課
9	災害リスク箇所のパトロール回数	3回	2回	1回	土木課
10	公共下水道普及率	62.3%	61.9%	0.4%	下水道課

11	公共下水道水洗化戸数	13,900 戸	13,862 戸	38 戸	下水道課
12	大館市下水道事業業務継続計画（BCP）に感染症対策を追加する	-	-	-	下水道課
13	水使用量	7,300 m ³	7,459 m ³	159 m ³	環境管理事務局
14	灯油の使用	30,400 L	46,652 L	16,252 L	環境管理事務局

法順守項目関連

	内容	施設名	部署名
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（第3条、第6条の2）	比内地鶏糞処理施設	農政課
2	排水基準 水素イオン濃度（PH 値）	小泉交流センター	比内総合支所
3	1 1 条法定検査 総合判定	外川原地区米代川河川緑地	都市計画課

緊急事態の発生

○還付金詐欺についての注意喚起

7月11日に、還付金詐欺と思われる不審電話が市内で発生していることについて情報提供があり、同日「大館市公式くらしとごみアプリ」により市民へ周知した。

8月1日に、県内で特殊詐欺の被害が急増していることを受け、「大館市公式くらしとごみアプリ」により市民へ周知した。

10月4日に、還付金詐欺と思われる不審電話が市内で発生していることについて情報提供があり、同日「大館市公式くらしとごみアプリ」により市民へ周知した。

3月10日に、還付金詐欺と思われる不審電話の発生と、代引きで送られてくる身に覚えのない荷物に関する注意喚起について情報提供があり、同日「大館市公式くらしとごみアプリ」により市民へ周知した。

○河川への未処理水等の流出

令和4年8月13日、鹿角市尾去沢坑廃水処理所において、豪雨により処理施設が水没し廃水（未処理水）が流出した。

米代川水系において、国・県・大館市で臨時採水を行い、水質分析結果は、排水基準・環境基準を下回った。

米代川原水パックテスト（重金属4項目）及び大館市内給水栓（水質基準5項目1か所）において、水道法に掲げる水質基準に適合。試験結果を受け同日取水を再開した。

令和4年8月23日、鹿角市尾去沢坑廃水処理所より、8月13日発生の豪雨のため処理所の稼働が停止している影響で、単純中和法による継続中和処理中であつたが、処理水の固液分離を目的とする沈殿地内の殿物界面が上昇したため、一部の中和殿物が河川に流出した。

米代川水系において、国・県・大館市で臨時採水を行い水質分析結果は、排水基準・環境基準を下回った。

米代川原水パックテスト（亜鉛）及び大館市内給水栓（水質基準6項目1か所）において、水道法に掲げる水質基準に適合。試験結果を受け、同日取水を再開した。

別紙1 内部監査員担当表

被 監 査 部 門		班	担 当 班	
1	総務部 総務課	1	竹村 邦人	柳谷 真希
2	総務部 危機管理課	4	松田 暁仁	藤島 由美子
3	総務部 企画調整課	4	松田 暁仁	藤島 由美子
4	総務部 職員課	4	松田 暁仁	藤島 由美子
5	総務部 財政課	1	竹村 邦人	柳谷 真希
6	総務部 管財課	3	中村 芳樹	大澤 しのぶ
7	総務部 契約検査課	2	工藤 忍	畠山 雅寛
8	市民部 市民課	13	羽生 昇二	佐藤 周
9	市民部 保険課	6	藤原 英高	高橋 奈央子
10	市民部 税務課	13	羽生 昇二	佐藤 周
11	市民部 収納課	8	相澤 智美	大里 克史
12	市民部 環境課	9	稲葉 秀行	工藤 睦月
13	福祉部 福祉課	12	佐々木 宏子	泉 裕喜
14	福祉部 子ども課	10	高橋 勉	小森 咲季
15	福祉部 長寿課	5	虻川 正人	佐藤 信博
16	福祉部 健康課	2	工藤 忍	畠山 雅寛
17	産業部 農政課	3	中村 芳樹	大澤 しのぶ
18	産業部 林政課	11	石田 孝志	浪岡 一敏
19	産業部 商工課	8	相澤 智美	大里 克史
20	観光交流スポーツ部 観光課	13	羽生 昇二	佐藤 周
21	観光交流スポーツ部 交流推進課	8	相澤 智美	大里 克史
22	観光交流スポーツ部 スポーツ振興課	2	工藤 忍	畠山 雅寛
23	建設部 土木課	9	稲葉 秀行	工藤 睦月
24	建設部 都市計画課	6	藤原 英高	高橋 奈央子
25	建設部 まちづくり課	7	畑井 義暢	伊藤 竜也
26	建設部 水道課	12	佐々木 宏子	泉 裕喜
27	建設部 下水道課	11	石田 孝志	浪岡 一敏
28	比内総合支所	7	畑井 義暢	伊藤 竜也
29	田代総合支所	12	佐々木 宏子	泉 裕喜
30	会計課	5	虻川 正人	佐藤 信博
31	議会事務局	1	竹村 邦人	柳谷 真希
32	教育委員会 教育総務課	10	高橋 勉	小森 咲季
33	教育委員会 学校教育課	10	高橋 勉	小森 咲季
34	教育委員会 生涯学習課	11	石田 孝志	浪岡 一敏
35	教育委員会 歴史文化課	5	虻川 正人	佐藤 信博
36	選挙管理委員会事務局	7	畑井 義暢	伊藤 竜也
37	農業委員会事務局	3	中村 芳樹	大澤 しのぶ
38	監査委員事務局	6	藤原 英高	高橋 奈央子
39	環境管理事務局	9	稲葉 秀行	工藤 睦月

令和5年度内部監査結果総括表

適合:38部門 軽微な不適合:1部門

助言及び勧告事項:15件 充実事項及びその他事項:15件

No	被監査部門名	監査員	判定	内容	代表監査員指摘
1	総務部 総務課	竹村 邦人 柳谷 真希	適合	充実:電力使用量の抑制に努めている。	
2	総務部 危機管理課	松田 暁仁 藤島 由美子	適合	なし	
3	総務部 企画調整課	松田 暁仁 藤島 由美子	適合	助言:文書管理について、旧年度文書のうち常用とするもののほかは、保存年限を設定するなど区別して管理のこと。	
4	総務部 職員課	松田 暁仁 藤島 由美子	適合	充実:5月18日に実施された一般研修のレジュメは、昨年度との変更点を箇条書きするなど今年度EMSへの取り組みが明確であった。また実行部門の長、環境推進委員、環境実行委員を対象とした環境マネジメントシステム研修会の内容を網羅、工夫されわかりやすく解説されていた。有効性は高いものと評価できる。	
5	総務部 財政課	竹村 邦人 柳谷 真希	適合	なし	
6	総務部 管財課	中村 芳樹 大澤 しのぶ	適合	なし	
7	総務部 契約検査課	工藤 忍 畠山 雅寛	適合	なし	
8	市民部 市民課	羽生 昇二 佐藤 周	適合	なし	
9	市民部 保険課	藤原 英高 高橋 奈央子	適合	助言:運用手順書が新旧混在していたので、最新の状態を維持すること。	
10	市民部 税務課	羽生 昇二 佐藤 周	適合	なし	

No	被監査部門名	監査員	判定	内容	代表監査員指摘
11	市民部 収納課	相澤 智美 大里 克史	適合	<p>助言：総合計画で掲げている成果指標は、「取り組むリスク及び機会」に合致する項目がないため該当なしとしているが、口座振替収納件数の増など本来業務（事務分掌）に関連し定量目標を設定しやすい取り組みは、業務に無理のない範囲で計画の策定（四半期単位で目標設定するなど）を検討されたい。</p> <p>充実：EMSの運用には取り込めていないものの、高い収納率の維持、キャッシュレス収納の推進など推進委員が掲げる明確な目標や課題に課全体で取り組み成果が出ている。PDCAを意識した業務活動やDX化への対応などで利害関係者（納税者）の利便性向上に繋がられている。</p>	
12	市民部 環境課	稲葉 秀行 工藤 睦月	適合	なし	
13	福祉部 福祉課	佐々木 宏子 泉 裕喜	適合	<p>助言：毎年のように行っている各種計画の改定スケジュール等について、EMSを利用して進行管理することを検討してほしい。</p> <p>充実：新年度の目標設定において、現年度の実施状況や変化する状況を考慮し目標に反映させている。</p>	
14	福祉部 子ども課	高橋 勉 小森 咲季	適合	なし	
15	福祉部 長寿課	蛇川 正人 佐藤 信博	適合	なし	
16	福祉部 健康課	工藤 忍 畠山 雅寛	軽微な不適合	<p>軽微な不適合：前年度に指摘されていた特管産廃施設技術管理者の資格確認について、今年度も報告されていないため、早急に確認を行い事務局へ報告すること。</p>	
17	産業部 農政課	中村 芳樹 大澤 しのぶ	適合	<p>助言：コンポストセンターの鳥インフルエンザ対策を行うこと。防鳥ネットの設置や場外の消毒、外壁の破損箇所の修繕等の対策が行われることが望ましい。</p>	
18	産業部 林政課	石田 孝志 浪岡 一敏	適合	<p>充実：ゼロカーボンシティの実現に向けて、重要な事業が多くあり、目標管理をしっかりとって計画的に取り組んでほしい。</p>	

No	被監査部門名	監査員	判定	内容	代表監査員指摘
19	産業部 商工課	相澤 智美 大里 克史	適合	<p>助言：「リスク及び機会」で環境目標としている「事業継続力強化支援」が、国土強靱化地域計画で設定したもの（コロナ禍への対応策にも該当すると思われる）として行うことと、商工団体と行う支援会議や調整会議を開催することを実績としているため、やや分かりにくくなっている。関連するリスク及び機会の決定や主眼をどこに置くかを含めた見直しを検討されたい。</p> <p>充実：「環境目標を達成するための計画策定」で、取り組み状況や達成度評価が具体的に記録されており、次の年度に向けた改善の機会に繋がられている。定性的な目標についても、目指す着地点に向けた行動ができています。</p>	
20	観光交流スポーツ部 観光課	羽生 昇二 佐藤 周	適合	なし	
21	観光交流スポーツ部 交流推進課	相澤 智美 大里 克史	適合	<p>助言：総合計画でも大きな位置づけである「交流事業の推進」「多様な地域間交流」は、主体がソフト事業ではあるが、計画通りのイベントをこなして達成とするだけではない評価基準を設け、成果を具体化できるよう検討されたい。</p> <p>充実：上記で「助言」としたが、環境推進委員、実行委員共に課題を把握しており、R5年度の評価から取り組み内容を見直したいと説明があり、PDCAの適切な運用、改善の機会に繋がられていることを高く評価したい。</p>	
22	観光交流スポーツ部 スポーツ振興課	工藤 忍 畠山 雅寛	適合	なし	
23	建設部 土木課	稲葉 秀行 工藤 睦月	適合	<p>充実：環境実行委員を2名体制にし、事務系と現場系とで分業し浸透が図られている。双方の役割を明確に分け、メインとサブの集約システムを決めているのも評価できる。</p>	
24	建設部 都市計画課	藤原 英高 高橋 奈央子	適合	<p>助言：住宅リフォーム支援事業補助金の目標件数は、補正予算に応じて評価見直しを図り、目標件数設定の見直しをすること。</p> <p>都市下水路浚渫土壌の目標設定数値と実績管理数値との整合性が取れていないので、比較できるように数値の整合性をとること。</p> <p>充実：不適合是正処置後の再発防止のための対策を、是正の対象となった浄化槽以外の浄化槽にも適用し、防止策を講じている。</p>	

No	被監査部門名	監査員	判定	内容	代表監査員指摘
25	建設部 まちづくり課	畑井 義暢 伊藤 竜也	適合	なし	
26	建設部 水道課	佐々木 宏子 泉 裕喜	適合	<p>助言：環境目標にしている耐震化率について、適正に進捗管理されているが、どういう基準で目標が達成されたのかが不明瞭。元になる資料もあり説明頂くとよく理解できたが、一目でわかりやすくなるよう、記載の仕方に改善の余地がある。</p> <p>充実：安心・安全な水を提供すること、市民のライフラインを担っていることに関して責任を持って業務にあたっていると感じた。施設数も相当あり大変だと思うが、今後もEMSを利用して管理の一助にしていきたい。</p>	
27	建設部 下水道課	石田 孝志 浪岡 一敏	適合	なし	
28	比内総合支所	畑井 義暢 伊藤 竜也	適合	なし	
29	田代総合支所	佐々木 宏子 泉 裕喜	適合	<p>助言：事務用紙使用量について、新年度見直しの際に目標値削減の余地があれば反映させてほしい。</p>	
30	会計課	虻川 正人 佐藤 信博	適合	<p>充実：環境実行委員が作成した見やすくわかりやすい資料に基づき一般研修を行っている。その中で、環境目標の数値の取りまとめについて、1年を通して課内全員に担当する期間を割り当てている点は、一人一人の環境目標に対する認識の向上が図られると推察できる。</p>	
31	議会事務局	竹村 邦人 柳谷 真希	適合	<p>充実：タブレットの利用推進により、事務用紙の使用量削減に努めている。</p>	
32	教育委員会 教育総務課	高橋 勉 小森 咲季	適合	なし	
33	教育委員会 学校教育課	高橋 勉 小森 咲季	適合	なし	
34	教育委員会 生涯学習課	石田 孝志 浪岡 一敏	適合	<p>助言：各地区公民館で、環境側面として評価できる事業が実施されているので、環境影響評価を行ってほしい。</p>	

No	被監査部門名	監査員	判定	内容	代表監査員指摘
35	教育委員会 歴史文化課	虻川 正人 佐藤 信博	適合	<p>助言：敷地内の舗装の穴が大きく目立ち、来場車両に破損のおそれがあるため早急な補修が求められる。</p> <p>充実：人口減少、少子高齢化が進む中で、関連団体の活動が減少している。そのような中で、文化財の保護や伝統文化の継承・普及にあたり、課内及び所管施設における課題をしっかりと洗い出しており、課全体で共有しながら解決に向けて取り組んでいる。</p>	
36	選挙管理委員会事務局	畑井 義暢 伊藤 竜也	適合	なし	
37	農業委員会事務局	中村 芳樹 大澤 しのぶ	適合	なし	
38	監査委員事務局	藤原 英高 高橋 奈央子	適合	<p>充実：監査を実施するうえで、物価上昇による影響を考慮し、項目によっては金額ではなく数量でもって審査するようにしている。</p>	
39	環境管理事務局	稲葉 秀行 工藤 睦月	適合	<p>助言： 内部監査後の印象として、環境管理事務局の事務・事業について、設定した目標が達成されているか判定が難しい。実行部門に位置づけられていない事務局が内部監査要綱の適用範囲に含まれるか検討を要する。</p> <p>含まれるとした場合、事務局としても環境影響評価の実施や、環境目標を達成するための計画策定及びその評価方法について、検討を要する。</p> <p>充実：環境管理総括者からのマネジメントレビュー時の指示事項等に関し、環境管理マニュアルに迅速に反映させるなど、適切に対応をしている。</p>	

令和5年度内部監査結果総括表（充実事項抜粋）

計15件（その他事項を除く）

	被監査部門名	内 容
1	総務部 総務課	電力使用量の抑制に努めている。
2	総務部 職員課	5月18日に実施された一般研修のレジュメは、昨年度との変更点を箇条書きするなど今年度EMSへの取り組みが明確であった。また実行部門の長、環境推進委員、環境実行委員を対象とした環境マネジメントシステム研修会の内容を網羅、工夫されわかりやすく解説されていた。有効性は高いものと評価できる。
3	市民部 収納課	EMSの運用には取り込めていないものの、高い収納率の維持、キャッシュレス収納の推進など推進委員が掲げる明確な目標や課題に課全体で取り組み成果が出ている。PDCAを意識した業務活動やDX化への対応などで利害関係者（納税者）の利便性向上に繋がられている。
4	福祉部 福祉課	新年度の目標設定において、現年度の実施状況や変化する状況を考慮し目標に反映させている。
5	産業部 林政課	ゼロカーボンシティの実現に向けて、重要な事業が多くあり、目標管理をしっかりと計画的に取り組んでほしい。
6	産業部 商工課	「環境目標を達成するための計画策定」で、取り組み状況や達成度評価が具体的に記録されており、次の年度に向けた改善の機会に繋がられている。定性的な目標についても、目指す着地点に向けた行動ができています。
7	観光交流スポーツ部 交流推進課	「助言」とした項目について、環境推進委員、実行委員共に課題を把握しており、R5年度の評価から取り組み内容を見直したいと説明があり、PDCAの適切な運用、改善の機会に繋がられていることを高く評価したい。
8	建設部 土木課	環境実行委員を2名体制にし、事務系と現場系とで分業し浸透が図られている。双方の役割を明確に分け、メインとサブの集約システムを決めているのも評価できる。
9	建設部 都市計画課	不適合是正処置後の再発防止のための対策を、是正の対象となった浄化槽以外の浄化槽にも適用し、防止策を講じている。
10	建設部 水道課	安心・安全な水を提供すること、市民のライフラインを担っていることに関して責任を持って業務にあたっていると感じた。施設数も相当あり大変だと思うが、今後もEMSを利用して管理の一助にしていきたい。
11	会計課	環境実行委員が作成した見やすくわかりやすい資料に基づき一般研修を行っている。その中で、環境目標の数値の取りまとめについて、1年を通して課内全員に担当する期間を割り当てている点は、一人一人の環境目標に対する認識の向上が図られると推察できる。
12	議会事務局	タブレットの利用推進により、事務用紙の使用量削減に努めている。

	被監査部門名	内 容
13	教育委員会 歴史文化課	人口減少、少子高齢化が進む中で、関連団体の活動が減少している。そのような中で、文化財の保護や伝統文化の継承・普及にあたり、課内及び所管施設における課題をしっかりと洗い出しており、課全体で共有しながら解決に向けて取り組んでいる。
14	監査委員事務局	監査を実施するうえで、物価上昇による影響を考慮し、項目によっては金額ではなく数量でもって審査するようにしている。
15	環境管理事務局	環境管理総括者からのマネジメントレビュー時の指示事項等に関し、環境管理マニュアルに迅速に反映させるなど、適切に対応をしている。